

令和元年度がん教育総合支援事業 がん教育推進校実践報告

日高町立富川中学校

学級数：6 (3) 学級 生徒数：165 (3) 人

【実践テーマ】

コミュニティ・スクールの取組として、地域のがんに関する専門的知識を有した保健師と連携した保健体育科の授業実践

外部講師との連携：「がん教育」講話

※日高町保健福祉課と連携した取組

- 講師：公益財団法人 北海道対がん協会
札幌がん検診センター保健師 植村絵美 氏
- 対象学年・人数：第3学年・56人
- 使用教材：講師作成資料
- 内容：
 - ・がんについての正しい知識の習得
(がんの種類や要因、予防法、がん患者の治療や生活)
 - ・習得した知識を応用したがんの予防や健康を保持増進するための方法
(自分の生活との比較、疾病に係るリスクを軽減させるためにできること)
 - ・健康及び命の大切さ



校内研修

- 対象：全教職員
- 内容：
 - ・がん教育研修会（道教委主催）の還元
(がんの正しい知識についての共通理解など)

成果と課題

- 地域の保健師と連携し、専門的な知識を有した外部講師を活用したことにより、生徒ががんの種類や予防、早期発見によるがんの根治などの知識を身に付けるとともに、自身の生活や健康について見直す機会にすることができた。
- 保健体育科教員と養護教諭が連携を図り、がん教育研修会の還元に係る校内研修を実施したことにより、教職員が、新学習指導要領における生活習慣病の予防と関連付けたがん教育について、共通理解を図ることができた。
- がん教育に係る取組について、今後も地域の保健師と連携した取組を継続していくとともに、他の教育活動との関連について整理し、学校の保健指導に係る全体計画の改善を図る必要がある。
- 生徒が健康な生活及びがんの予防に関する自身の課題を発見し、その解決に向けて主体的に学ぶことができるよう、健康な生活と疾病の予防の学習における指導過程の工夫を図る必要がある。

